

ごみ収集の課題とレジ袋削減、市民生活向上のため、デマンドタクシーの導入について伺う。

個人質問

公明党 鯨井 眞佐子



環境問題について

問 ごみ収集が4月1日に見直されて2ヶ月が過ぎたが、収集状況は如何か。また、ビン・缶の収集は、コンテナ収集にすることに、ごみの減量、また、ごみをきれいにし出す意識改革にも繋がると考えるが如何か。

市長 市民の皆様のご協力により、燃やせないごみの収集量は大幅に削減されており、特に、プラスチック製容器包装は、日本容器包装リサイクル協会に納品し、資源化を行うことにより、安価に資源化が図れます。今後も別の適正化、指定袋の使用、収集日の遵守などについて、市民の皆さまのご理解、ご協力をお願いします。また、置き場面積を要するコンテナ収集の実現は難しいと考えています。

問 レジ袋の削減が地球温暖化防止の取り組みの一環として、全国的

な広がりを見せている。平成20年11月1日現在、都道府県の約8割、市町村の約4割が何らかの方法で、レジ袋削減の取り組みを実施しているが、本市における取り組みは如何か。

市長 レジ袋の削減については、容器包装リサイクル法に基づき、市内大規模スーパーにおいて、既にポイントカードの実施などが行われています。本市においては、千葉県が行っている「ちばレジエコ」を啓発し、サインアップや、ちばレジエコサポーターについて、広報紙等で周知していきたいと考えています。

問 本市では、現在ふれあいバスを5路線運行しているが、現体制に対する様々な要望を耳にする。少子高齢化を迎え、高齢者を含めた交通弱者の外

出しやすい環境整備を図りながら、地域間コミュニティの形成や日常生活の利便性の向上を目的に、新たな交通システムとして、デマンドタクシーの導入は如何か。

市長 ふれあいバスの運行状況は、平成20年度の実績で、5コース合計の年間の利用者は13万9千158人、1日平均381人、1便平均12.7人です。朝晩では、小学校児童の登下校や通勤・通学にも利用されていることから、現体制を大幅に変えることは相当難しい状況です。

市民生活の  
利便性について

問

れあいバスを5路線運行しているが、現体制に対する様々な要望を耳にする。少子高齢化を迎え、高齢者を含めた交通弱者の外

そこで、新たにデマンドタクシーの導入ですが、ふれあいバス運行に係る費用に対する市の財政負担が増加する中、現行の5ルート体制を基本として、将来にわたり安定的な運行を続けていくことが重要であると認識していることから、現時点では、その導入を考慮していません。

新型インフルエンザ対策、太陽光発電、水道事業及び図書館の充実について伺う。

個人質問

公明党 新宅 雅子



新型インフルエンザへの取り組みについて

問 新型インフルエンザへの対策、また、従来のインフルエンザが流行する秋・冬までを視野に入れた行動計画は策定されているのか伺う。

市長 本市では、手洗いやうがいの実施、マスクの着用などの予防に関することを市の広報紙やホームページに掲載するとともに、庁舎内に啓発用ポスターを掲示して、市民に呼びかけをしています。また、庁舎内の出入り口には、来庁者用の消毒用アルコールを置くなどの対応をしています。

太陽光発電装置への取り組みについて

問 新経済対策の中で盛り込まれている「スクール・ニューディール構想」の太陽光発電装置設置への取り組みを伺う。

教育長 学校における太陽光発電については、現在、八街中央学校で全面改築の際に設置しています。他の学校についても、今後、増改築等による施設整備に合わせた設置を検討していきたいと考えています。

水道事業について

問 国道409号、一区付近の漏水が多いが、今後の解消計画について伺う。

市長 一部更新工事を計画し、既に路線測量を実施しています。また、他の工法についても見いだす作業に入っているとありますが、可能な限り早急に対処していきたいと考えています。

太陽光発電装置設置の普及について伺う。

問 一般家庭における太陽光発電装置設置の普及について伺う。

市長 現在、国が実施している住宅用太陽光発電導入支援対策費補助金は、全国で平成21年3月末日現在、2万2千501件の申請があり、そのうち千葉県内では847件でした。本市としては、パンフレットを置き、市民

図書館について

問 図書館に、静かな環境で学習できる部屋が必要と考えるが、確保できないか伺う。

教育長 学生の利用が多くなる夏休み期間などは、新たな部屋の確保は難しいため、2階集会室を必要に応じて利用いただいています。